

報道関係者 各位

3月2日付一部報道「ドーピング陽性、コンタクトレンズの保存液が原因？」への一般社団法人日本コンタクトレンズ協会からのお知らせ

3月2日付の一部報道にて、平昌（ピョンチャン）五輪の日本人スケート選手にまつわるドーピング検査で陽性反応を示した問題で、「米国製の使い捨てコンタクトレンズの保存液が鼻の中に入ったことによって（陽性反応が）出る可能性がある」と言及されております。今後、関係機関にて調査が行われることと思われませんが、今回検出されたと伝えられているドーピング禁止薬物“アセタゾラミド”について、当協会加盟の製造販売業者および卸売販売業者43社に確認したところ、当協会加盟会社の製造・販売するすべてのコンタクトレンズの保存液には配合されていないことが判明いたしました。なお、コンタクトレンズに使用される消毒液、洗浄保存液についても同様に調査した結果、いずれも同成分は配合されていませんでした。

これまで通り、コンタクトレンズをご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

平成30年3月5日
一般社団法人日本コンタクトレンズ協会

一般社団法人日本コンタクトレンズ協会について

一般社団法人日本コンタクトレンズ協会は、1958年に同業組合として活動を開始し、2009年に一般社団法人として法人格を取得後、現在、会員数72社（正会員40社、賛助会員32社）を擁するコンタクトレンズの医療機器業団体です。当協会は、コンタクトレンズ及び関連するケア用品の品質と技術の向上、安全性の確保、並びに適正な流通と販売を目指し、国民の健康な視力と業界の健全な発展に貢献することを目的として、活動をしています。

「お問い合わせ先」

一般社団法人日本コンタクトレンズ協会

東京都文京区本郷3-15-9 SWTビル8F

担当者：松見 明

TEL:03-5802-5361 E-mail:matsumi@jcla.gr.jp